

がん対策について

厚生委員会資料
令和4年9月16日
品川区健康推進部健康課

1. 品川区がん対策推進計画について

区では、国や東京都の計画を踏まえ、新たな課題に応じたがん対策を総合的かつ計画的に推進するため、令和2年度に「品川区がん対策推進計画」を策定した。(計画期間 令和2年～6年度)

<基本理念>

～がんからあなたを守りたい～
がんにならない、
がんとともに自分らしく暮らせるまち品川

がん対策の施策と取り組み

1 科学的根拠に基づくがん予防を推進する

- (1) がん予防の生活習慣の普及啓発の推進
 - ①喫煙対策 ②飲酒対策 ③食生活の取り組み
 - ④身体活動の取り組み ⑤体型の管理
 - ⑥ウイルス等の感染対策
- (2) たばこ対策の推進
 - ①喫煙による健康影響の普及啓発
 - ②受動喫煙防止対策
 - ③禁煙外来治療費助成
- (3) 児童・生徒に向けたがん教育への取り組み
 - ①学校教育等における正しいがん知識の普及

2 がんの早期発見に向けた取り組みを推進する

- (1) 科学的根拠に基づくがん検診の実施
 - ①国の指針を踏まえた検診の見直し、有効ながん検診の実施
- (2) がん検診の質の向上に関する取り組みの推進
 - ①事務事業評価のためのチェックリストの実施
 - ②精度管理委員会の開催・検証
 - ③プロセス指標の活用
- (3) 受診率向上の取り組みの推進
 - ①がん検診受診率（一次検診）の向上
 - ②精密検査受診率の向上

3 がん患者やその家族への支援を推進する

- (1) がん患者やその家族の不安の軽減
 - ①相談支援に関する情報提供の推進
 - ②在宅療養、緩和ケアに関する情報提供の推進
- (2) 地域医療連携の充実
 - ①がんの在宅医療における連携
 - ②人材育成への支援
- (3) がんと就労に関する相談、支援の充実
 - ①情報提供の充実

各種計画の計画期間(年度)									
令和2(2020)	令和3(2021)	令和4(2022)	令和5(2023)	令和6(2024)	令和7(2025)	令和8(2026)	令和9(2027)	令和10(2028)	令和11(2029)
品川区長期基本計画(2020(令和2)～2029(令和11)年度)									
しながわ健康プラン(2015(平成27)～2024(令和6)年度)									
品川区がん対策推進計画(2020(令和2)～2024(令和6)年度)									
第3期がん対策推進基本計画(2017(平成29)～2022(令和4)年度)									
東京都がん対策推進計画(第二次改定)(2018(平成30)～2023(令和5)年度)									



がん対策推進計画

2. がん検診受診率向上に向けた取り組みの推進

5つのがんで国の目標値(50%)の達成に向け、受診率の向上に取り組む。

1. 案内のツール、啓発方法の工夫

①がん予防に関する普及啓発



イトーヨーカ堂での乳がん自己チェック



品川図書館でのパネルの掲示

②がん検診等チラシ等の見直し



「がん検診のご案内」(R4年度版)

③さまざまな媒体を活用した啓発方法の検討



「品川区がん情報ホームページ」(R4.1月開設)

2. 対象者や未受診者への勧奨(受診勧奨・再勧奨の実施)

- ①がん検診個別通知(区民を対象にがん検診の案内を送付)
- ②胃がん、乳がん・子宮がん検診の個別通知(対象者に受診券を送付)
- ③乳がん・子宮がん検診の未受診者への受診再勧奨通知

品川区がん検診受診率 実績(5がん)

	胃(7.4%)	肺(10.5%)	大腸(24.5%)	子宮(30.4%)	乳(28.4%)
R3年度	5.5%	9.6%	21.0%	30.9%	34.9%
R2年度	4.6%	9.2%	20.5%	26.7%	31.6%

※()は計画上の区の目標値

区のがん部位別死者数の年次推移

	令和元年	令和2年	令和3年
死亡数(計)	916人	910人	907人
第1位	肺がん 191人	肺がん 156人	肺がん 176人
第2位	大腸がん 117人	大腸がん 128人	大腸がん 126人
第3位	胃がん 96人	膵臓がん 111人	膵臓がん 92人
第4位	肝臓がん 86人	胃がん 91人	胃がん 91人
第5位	乳がん 53人	肝臓がん 57人	肝臓がん 66人
第6位	肝臓がん 50人	食道がん 39人	乳がん 46人
第7位	食道がん 40人	乳がん 38人	食道がん 26人
第8位	子宮がん 22人	子宮がん 24人	白血病 16人

注)色についているがんは、区でがん検診を実施しています。



子宮がん検診受診券・ご案内

課題

品川区のがん部位死因別順位は、平成29年から男女とも1位は、肺がん、2位は大腸がんとなっている。
子宮がん・乳がんは、受診率の目標値を達成しているが、死亡者数が多い、胃がん、肺がん、大腸がんは今後も受診率の向上に努めていく必要がある。

3. たばこ対策の推進

「改正健康増進法」および「東京都受動喫煙防止条例」の全面施行に伴い、令和2年4月より、すべての施設は原則屋内禁煙となった。「望まない受動喫煙」をなくし、「受動喫煙による健康影響が大きい子ども、患者等を特に配慮し」、「施設の類型・場所ごとに対策を実施する」という3つの基本的な考えに基づき受動喫煙対策を推進している。

1. 喫煙による健康影響の周知・啓発

- ・ホームページでの周知・啓発
- ・世界禁煙デー・禁煙週間、健康増進普及月間の期間中にポスター掲示で禁煙の啓発を実施
- ・卒煙セミナーの実施（国保医療年金課保険事業）

2. 受動喫煙防止対策

- ・飲食店等に対する法令に基づく指導・啓発
- ・喫煙可能店か否かの店頭表示の順守、啓発チラシによる周知



啓発チラシ

禁煙外来マップ

◎ 標識未掲示店への周知チラシの送付実績

【R2年度：2,319件、R3年度：1,250件】

◎ 令和3年度相談等による対応件数 105件

【内訳】 電話連絡 88件（敷地内屋外等68件、飲食店等店内17件、マンション等住居3件）

現地訪問 17件（敷地内屋外等12件、飲食店等店内5件）



標識の一例

3. 禁煙外来治療費助成

- ・禁煙治療費等の自己負担額分の助成(上限1万円)
- ・禁煙治療を受けることのできる医療機関の紹介マップを作成・配布

禁煙外来治療費助成金交付状況

	登録申請人数	助成金交付人数
R3年度	76人	46人
R2年度	127人	63人

4. 相談体制の充実について

がんと診断された時から提供されるがんの在宅療養体制、緩和ケアについて、普及啓発を行うとともに、今後、治療に伴う外見変化に対する支援（アピアランスケア）を推進する。

1. がん患者やその家族の不安の軽減

- ・がんの夜間相談窓口（R2.10月～開始）

緑に囲まれた、落ち着いたカフェのようにくつろいだ雰囲気、がんの治療のこと、不安なことなどを相談できる場を提供する。

【実施場所】 認定NPO法人 マギーズ東京

（江東区豊洲6-4-18）

【開催日】 月1回第三金曜日 18：00～20：00

【相談実績】 R2年度（10月～）：35件、R3年度：62件

（内訳）本人48%、家族24%、その他28%



マギーズ東京

利用者の相談例

- ・半年前に妻を亡くして立ち直れない。どうやってみんな乗り越えているのか？
- ・がんと診断され不安。今後病状の進行経過と治療は、どのように選択すべきか。
- ・訪問看護をしている。がん患者の看取りを相談したい。

利用者の声

- ・医療機関や治療内容に不信感があり、不安や孤独感を感じていたが、話を聞いてもらって人との繋がりを感ぜられた。
- ・日中でも夜間でも相談ができ、その時々で自分に合った時間を選んで相談ができた。
- ・相談方法に電話やZOOMが追加されたので、安心して相談ができた。

2. 地域医療連携の充実

- ・がん診療連携拠点病院「がん相談支援センター」

「がん」に関する様々な相談を、がんを専門とする看護師、ソーシャルワーカー、栄養士、薬剤師、事務が携わり、各専門職が共同し、その状況に応じた支援を行う。

- NTT東日本関東病院

（対応時間）平日の月～金 9：00～17：00

- 昭和大学病院（総合サポートセンター）

（対応時間）平日の月～金 8：30～17：00

3. がんと就労に関する相談、支援の充実

- ・情報提供の充実

* チラシによる啓発や区のホームページによる情報発信

* 出張健康学習、健康大学しながわでの講座を実施

<今後の取組み方向性>

○アピアランスケア（緩和ケア）について

先行自治体の状況や関係機関との連携などを踏まえ、具体的な検討を進める。

利用者の相談例

- ・病気や治療について知りたい
- ・就学や就職はできるのか、仕事は続けられるのか
- ・がんの治療をしながら妊娠や出産ができるのか
- ・同じ病気の人と話してみたい
- ・外見のことが気になる
- ・病気のことを子供にどう話せばいいのか



がんそして仕事との両立サポート情報（品川区版）パンフレット